



## 目的

- ドローンを活用することで収穫物の出荷・運搬作業を効率化  
→ 輸送時間を削減することで、農業従事者の負担を軽減
- ドローンを自動操縦で運用  
→ 労働力不足の解消、自動車から無人航空機に手段を転換することでCO2の削減

## 背景・課題

- 基幹産業である農業の従事者の不足や高齢化の問題  
→ 運搬作業効率化や輸送時間削減など、従事者の負担削減が求められる
- 「北欧の風 道の駅とうべつ」の最盛期には農作物が欠品状態になることも…しかし、農繁期のため農家や農協職員による対応が困難な状況

## 事業のポイント



- ✓ 物流システムの活性化による「人手不足」の解消
- ✓ 他にない先駆けた取り組みによる「町興し」

## 期待される効果



- ✓ 基幹産業である農業の人手不足の解決
- ✓ 先進的な無人航空機物流を導入することによる町のPR
- ✓ ドローン技術を活用した物流システムの構築

## 推進体制



### 代表事業者

- ブルーイノベーション株式会社

### 協力者

- 株式会社 tobe (道の駅)
- ドローン協会
- 北石狩農業協同組合
- 経済産業省北海道経済産業局
- 地元農家

## 概要

[飛行ルート]



使用機体：  
SkyDrive社製  
「Cargo Drone」(実験機)



ご協力農家様の敷地内



野菜や果物等を運搬  
運行管理システムで安全  
な運航、正確な離着陸を実現



道の駅

### 事業内容

- トラック等からドローンによる運搬の転換を目的に、20kg相当の野菜をドローンに積載し、農家間を経由しながら道の駅まで運ぶ実証実験を行った。
- 技術やコストなどの検証を行いながら、3年後の実用化を目指す。